

「資料館活用学習」モデルコース(A～K校 活用事例)

	月	火	水	木	金
2時限	A校:児童・生徒80名程度…3班 【(1)－①】 資料館展示資料の案内・解説 【(1)－④および⑤】 農作業体験・火起こし体験	D校:児童・生徒30名程度 【(2)－②】 校区および周辺の歴史 ※ハンズオン可能な資料や持ち出し可能な資料を持参	F校:児童・生徒30名程度 【(3)－②】 川島古墳の案内・解説 帰校後 【(2)－④】 弓矢作り ※1時間でも調整可能。	B校:児童・生徒30名程度…6班 【(1)－⑧】《展開》 職場体験 事前学習したテーマに関して、各班に分かれ資料を展示する。その後、発表を行う。 ※月曜4時限に関連	I校:児童・生徒30名程度 【(3)－③】および【(1)－①】 小正西古墳の案内・解説 資料館展示資料の案内・解説 《事前学習》 前日までにワークシート(鋭意作成中)を記入 《現地見学》 本物の古墳や石室を見る 《歴史資料館見学》 本物の出土品を見る／同時代の出土品を触る ワークシート(前掲)へ再記入
3時限	※交代で見学・体験を行う	D校:児童・生徒30名程度 【(2)－②】 校区および周辺の歴史 ※ハンズオン可能な資料や持ち出し可能な資料を持参		H校:児童・生徒30名程度 【(1)－⑨】《関連する体験》 古文書解読体験 江戸時代の旧村ごとのお米の生産高について学習する。	J校:児童・生徒30名程度 【(3)－④】 鹿毛馬神籠石の案内・解説
4時限	B校:児童・生徒30名程度…6班 【(2)－②】《事前学習》 職場体験のための事前学習としての「校区のおよび周辺の歴史」 ※木曜2～3時限に関連	D校:児童・生徒30名程度 【(2)－②】 校区および周辺の歴史 ※ハンズオン可能な資料や持ち出し可能な資料を持参			
5時限	C校:児童・生徒30名程度 【(2)－⑤】 古文書解読体験 ※現在の価値に換算する際、金額の低い村に対してフォローを入れることが重要。 (例)農業ではなくて商業あるいは林業などが盛ん／量は少ないけど、とても美味しいお米がとれていたかもしれない等	E校:児童・生徒30名程度 【(2)－③】 勾玉作り ※2時間以上推奨。 ※1時間でも調整可能。	G校:児童・生徒30名程度 【(3)－①】 校区内の史跡等の案内・解説 《応用例》 後日、班に分かれて調べたことを発表する。	【(1)－④】《関連する体験》 農作業体験 江戸時代にも使われた千歯こきで脱穀などの体験を通じて歴史・文化に対する理解を深める。 (米俵も準備したい)	
6時限					K校:児童・生徒30名程度 【(2)－①】 飯塚市の歴史 ※ハンズオン可能な資料や持ち出し可能な資料を持参

セットプラン

※上記表の網掛けと対応

月2～3限	A校:資料館見学と農作業体験および火起こし体験を各班交代で行う。
月4限・木2～3限	B校:【1日目・事前学習】校区および周辺の歴史を行い、【2日目・展開】資料館にて展示体験を行う。
水2～4限	F校:川島古墳の案内・解説を行い、帰校後、弓矢作りを行う。
木4～6限	H校:古文書解読体験でH校の校区にあたる江戸時代の村々の石高を解読した後、農作業体験を行う。
金2～4限	I校:【事前学習】ワークシート記入、【展開】現地見学・資料館見学を行い、ワークシートに再記入する。

※いずれもあくまで活用事例です。この他に、ご希望のプログラムや組み合わせ等ありましたら検討可能です。まずは気軽にご相談ください。